

2024年6月6日

株式会社日立インダストリアルプロダクツ

マルチポート EV チャージャを用いた通勤車の EV 化促進による CO2 削減モデル 「Workplace E-Powering」の運用を 7 月から開始

エネルギーマネジメントや地域電力ネットワーク構築への展開をめざし、カーボンニュートラルの実現に貢献



土浦事業所「Workplace E-Powering」導入予定地

株式会社日立インダストリアルプロダクツ(以下、日立インダストリアルプロダクツ)は、当社土浦事業所(茨城県土浦市)において、2024年7月から、マルチポート EV チャージャ^{*1}を用いた通勤用 EV(電気自動車)による CO2 削減モデル「Workplace E-Powering(以下、WEP)^{*2}」の運用を開始します。

具体的には、2023年10月に製品化した大容量・超急速充電マルチポート EV チャージャを当社土浦事業所の駐車場に設置し、勤務時間中に EV の充電を可能にすることで、従業員の EV 導入を促し、CO2 削減につなげます。さらに今後は、WEP を日立グループ内外へ適用拡大を図るとともに、エネルギーマネジメントから地域電力ネットワークへ展開までの提供をめざしており、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

^{*1} [日立インダストリアルプロダクツリリース\(2023年9月19日\)「脱炭素社会の実現に向けた充電インフラ拡充および EV 普及に貢献する大容量マルチポート EV チャージャを製品化」](#)

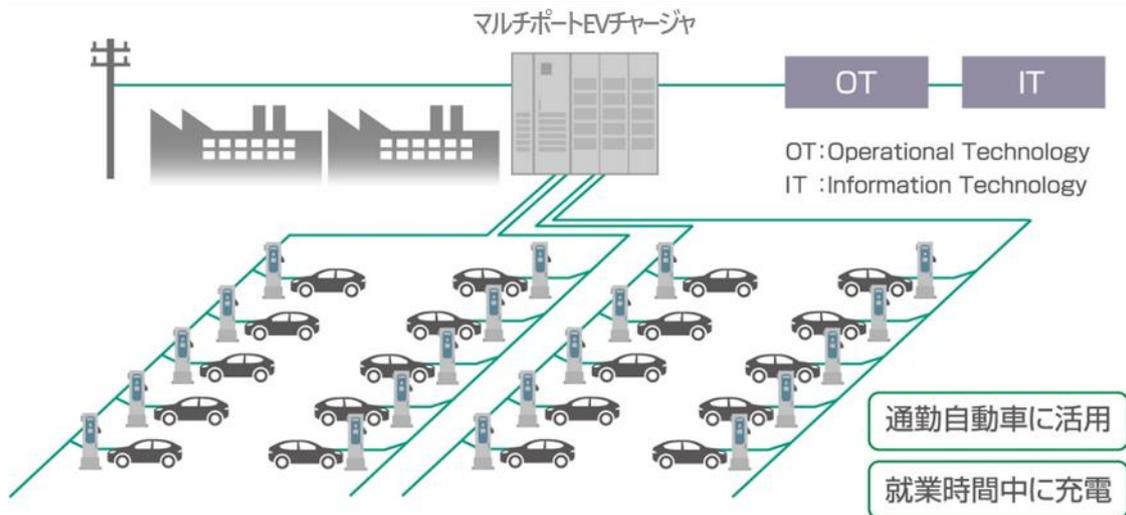
^{*2} Workplace E-Powering(WEP): 事業所の駐車場に充電器を設置し、従業員が勤務中に EV の充電を行い、通勤に伴う CO2 を削減する。

■「Workplace E-Powering(WEP)」について

事業所の駐車場に最大 80 台までの同時接続、20 台までの同時充電が可能なマルチポート EV チャージャを設置し、駐車中の EV の充電を行い、Scope3 カテゴリー7^{*3}に該当する通勤車両における CO2 削減を実現します。

また、従業員は EV をリース会社と契約することで、EV をサブスクリプションとしてサービスの提供が受けられ、自宅に充電器がなくても EV を導入でき、従業員満足度の向上にもつながります。

^{*3} Scope3 カテゴリー7: 温室効果ガス(GHG)プロトコルにおける従業員の職場への通勤時に使用する交通機関から排出される CO2 の排出量



通勤用 EV による CO2 削減モデル「Workplace E-Powering」イメージ図

■今後の取り組み

当社土浦事業所における WEP 運用開始を起点として、日立グループの各事業所への WEP 設置拡大、さらに蓄積されたノウハウを生かし日立グループ外への展開を図ります。

マルチポート EV チャージャの特長の一つである V2X^{*4} 機能を生かし、ピークカット、ピークシフトといった拠点内エネルギー管理をはじめ、拠点間エネルギー管理の実証を日立グループ間で計画しております。

さらに、EcoAssist^{*5}、EV 充電管理といった、日立グループ内のソリューションとも連携し、さまざまな業種において、EV 普及に際しての課題を解決する日立グループのソリューション、OT、IT によるグリーン領域のトータルシームレスソリューション^{*6} の提供により、地域ステークホルダーを含んだ地域電力ネットワークの構築をめざしていきます。



*4 V2X(Vehicle to Everything): EV からさまざまなモノへの電力供給。

*5 「EcoAssist」は、株式会社日立製作所の日本における登録商標です。:

*6 「トータルシームレスソリューション」は、株式会社日立製作所の日本における登録商標です。ソリューション×OT×IT で経営と現場、サプライチェーン、企業間をつなぎ、「際」の課題の解決を通して経営視点での全体最適をめざします。

*7 [日立インダストリアルプロダクトリリース\(2022年10月6日\)「次世代EV充電規格CHAdeMO3.0\(ChaoJi2\)実証プロジェクト参画」](#)

■背景

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル社会の実現に向けて、2035年までの乗用車新車販売における電動車 100%の実現が急がれる中、いまだ国内では充電インフラ整備の遅れに伴う充電渋滞の発生や、EVの具体的なユースケースの検討が進んでおらず普及が遅れています。さらに、事業活動より排出されるCO₂のなかでも、Scope3 カテゴリー7に該当する通勤車両におけるCO₂削減の実現には、充電インフラの拡充と従業員のEV導入が必要となります。

■「マルチポート EV チャージャ」に関するウェブサイト

<https://www.hitachi-ip.co.jp/products/evcharger/>

■日立インダストリアルプロダクツについて

日立グループは「デジタル」「グリーン」「イノベーション」の3つを成長の柱として、グローバルで社会イノベーション事業のさらなる進化と成長をめざします。

日立インダストリアルプロダクツは産業・流通、水インフラ、ヘルスケア、家電・空調システム、計測分析システム、ビルシステムなどの幅広い領域でプロダクトをデジタルでつなぐ「コネクティブインダストリーズ」の中で、プロダクト事業を通じてお客さまの環境価値の向上に貢献します。

詳しくは、日立インダストリアルプロダクツのウェブサイト(<https://www.hitachi-ip.co.jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立インダストリアルプロダクツ

営業統括本部 電機システム技術部 [担当：西岡、坊傳、村上]

〒101-0021 東京都千代田区外神田一丁目5番1号 住友不動産秋葉原ファーストビル

電話：03-6271-7068(直通)

株式会社日立インダストリアルプロダクツ マルチポート EV チャージャ お問い合わせフォーム

https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-ip/jp/evcharger/form_input.jsp

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
